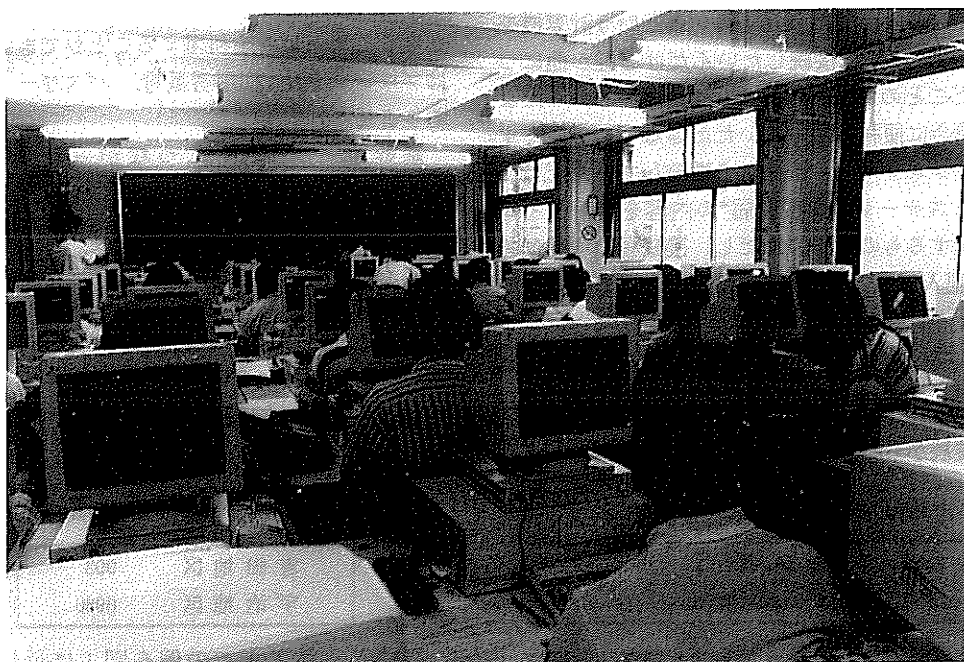


KUINS ニュース No. 12

京都大学学術情報ネットワーク機構



情報処理教育の実習を受ける学生（情報処理教育センター）

目 次

ホスト情報検索システムの利用方法	106
ユーザ情報サービスシステムの利用方法	109
KUINS の利用に関する講習会について	112
KUINS 会議日誌	112

ホスト情報検索システムの利用方法

福島由子

1. はじめに

ホスト情報検索システムの運用を開始しました。これは、「KUINS-LANにはどんな計算機がつながっているのかな?」とか「●×▲という計算機を購入してLANに接続したいんだけど誰か他に知らないことのある人はいないかな?」といったような場合に便利に使っていただけるシステムです。

このシステムは、皆様から提出していただいたワークステーション接続届*の内容をオンラインで検索するものです。ただし、接続届の項目にある「記入項目の開示=“不可”」のものは検索できません。

ここでは、ホスト情報検索システムの利用方法について説明します。

2. 接続から終了まで

ホスト情報検索システムは、

IPアドレス	130.54.254.1
ホスト名	nic.kuins.kyoto-u.ac.jp

というワークステーションをサーバマシン(サービスを提供しているマシン)としています。

KUINSの基幹ループLANに接続された計算

機からは、

% telnet 130.54.254.1

または、

% telnet nic.kuins.kyoto-u.ac.jp.

とするとサービスを利用することができます(%はプロンプト)。利用者番号、パスワードは必要ありません。

基幹ループLANにつながったサブLAN(イーサネット)が近くにない場合は、DAUやデジタル電話機(B型電話またはA型電話にアダプタを取り付けたもの)を使った電話回線による接続も可能です。SLIPゲートウェイ(表1参照)にダイヤルイン後、サーバマシンのIPアドレス(130.54.254.1)を指定するとつながります(詳しい接続手順はKUINSニュースNo.7参照)。

表1 ゲートウェイ電話番号

吉田地区	993
宇治地区	6980

接続から終了までの例を図1に示します。“%”はプロンプトを、下線部は入力を表しています。

* KUINSの基幹ループLANに計算機を接続するときに提出していただいているものです(KUINSニュースNo.7, No.9参照)。

```

% telnet 130.54.254.1 ..... サーバマシンに接続
Trying 130.54.254.1 ...
Connected to 130.54.254.1
Escape character is 'D'.

KUINS Information Service System ..... 接続OK

What is your terminal? (default: vt 100) _ ..... 端末の種類を入力
How many lines does your terminal have? (default: 24) _ ..... 1画面の行数を入力

```

```

Which do you prefer, DEL or BS? (default: DEL) _ ..... 1文字消去キーを入力

《 Welcome to KUINS Information Service System 》 ..... 情報サービスシステム開始
1. ホスト情報の検索   2. ユーザ情報の登録・検索   9. 終了

サービスの種類を選択して下さい
1 ..... 1 or 2を入力
(省 略)

《 Welcome to KUINS Information Service System 》

1. ホスト情報の検索   2. ユーザ情報の登録・検索   9. 終了

サービスの種類を選択して下さい
9 ..... 9の終了を入力
..... KISS INFORMATION .....
どうもありがとうございました。ご意見、ご感想などありましたら、
kiss-admin@kuins.kyoto-u.ac.jp
までお願いします。
.....

Connection closed by foreign host. .... 情報サービスシステム終了
%

```

図1 接続から終了までの例

3. 検索してみよう

それでは、どのような計算機がつながっているのか、実際に検索してみましょう。

コマンドを入力して下さい。コマンドには表2で書かれているものがあります。

表2 コマンド**

find	検索する
and	find で検索したデータに and 条件で検索する
or	find で検索したデータに or 条件で検索する
print	検索結果を表示する
hello	初めて利用する方へのメッセージを表示する
quit	終了する
help	詳しい help 画面を表示する
?	簡単な help 画面を表示する

コマンドの指定方法は表3のとおりです。表3にある検索項目名は表4に示すとおりです。また、検索キーは空白を含まない文字列を1つ入力して下さい。例えばホスト名が pink という計算機を検索する場合は、find host pink と入力して下

さい。

表3 コマンド指定方法

find	検索項目名	検索キー
and	検索項目名	検索キー
or	検索項目名	検索キー
print		
quit		
hello		
help		
?		

表4 検索項目名**の種類

host	ホスト名
vendor	ベンダー名
type	機種、製品名
ip	IPアドレス
protocol	通信プロトコル
area	地区 (吉田・宇治・熊取・信楽・犬山)
node	ノード番号
any	どの項目でもいい

** コマンドと検索項目名には省略形もあります。例えば find は f, type は t のように頭文字で表すことができます。

検索キーは空白を含まない文字列を1つ入力しますが、漢字は使えません。大文字小文字は区別していません。また、表5に示すようなワイルドカードも使えます。

help 画面を表示したり、print コマンドで多くのデータを表示する場合は、1画面分の内容を表示するごとに停止します。次の画面を表示するには space キー、表示を終了するには q を入力して下さい。

図2に、吉田地区にある機種名が mac で始まる計算機を検索する例を示します。“>”はプロ

ンプトを、下線部は入力を表しています。

表5 ワイルドカード

*	(0文字以上の任意のパターンとマッチ) do* → do, doa, doabc, ...
[]	([] 内の1文字とマッチ、または [] の範囲の文字とマッチ) [abc] → a, b, c [1-5] → 1, 2, 3, 4, 5
?	(任意の1文字とマッチ) tomat? → tomato, tomato, ...

```

《 Welcome to KUINS Information Service System 》

1. ホスト情報の検索      2. ユーザ情報の登録・検索      9. 終了

サービスの種類を選択して下さい
1

★ 初めてご利用になられる方は hello と入力して下さい ★

コマンド (find, and, or, print, quit) を入力して下さい
> find area yoshida ..... 吉田地区のデータを検索
*** 333 data found *** ..... 見つかった件数を表示
コマンド (find, and, or, print, quit) を入力して下さい
> and type mac* ..... その中で機種名が mac で始まるデータを検索
*** 10 data found *** ..... 見つかった件数を表示
コマンド (find, and, or, print, quit) を入力して下さい
> print ..... 検索結果を表示
届出者氏名      : 白倉由美
  部局          : 大型計算機センター
  電話番号      : 753-7841
  e-mail        : yumi@kuins.kyoto-u.ac.jp
設置場所        : 大型計算機センター5階機械室
ベンダー        : Apple Computer
製品名          : MAC PLUS
通信プロトコル : TCP/IP
IP アドレス     : 130.54.254.26
ホスト名        : tomato.kuins.kyoto-u.ac.jp
ノード番号      : 45
                (省 略)

コマンド (find, and, or, print, quit) を入力して下さい
> quit ..... 終了

《 ホスト情報検索システム 》を終了します

1. ホスト情報の検索      2. ユーザ情報の登録・検索      9. 終了

サービスの種類を選択して下さい

```

図2 検 索 例

4. おわりに

ホスト情報検索システムの使い方について説明しました。このシステムについて何かお気付きの点がございましたら、kiss-admin@kuins.

kyoto-u. ac. jp まで電子メールをお送り下さい。皆様のご意見を取り入れて、さらなる改良をすすめていきたいと思ひます。

(大型計算機センターネットワーク掛)

ユーザ情報サービスシステムの利用方法

四方敏明

1. はじめに

ネットワーク環境では、各種の情報をネットワーク・サービスを使って自由に得ることができます。代表的なものにユーザの個人情報提供サービス、計算機の稼動状態提供サービス、名前サービスなどがあります。

このうちユーザの個人情報提供サービスは、人に関する情報を得られるサービスであり、インターネットにおける whois サービスや wide プロジェクトにおける名前サービスなどがよく知られています。これらのサービスを利用することにより、個人のメールアドレスや所属機関などの情報を容易に手にいれることができます。しかし、これらのサービスは、われわれの身近な情報源にはなっていません。

このような状況のもと、個人情報 KUINS 利用者にとってより身近な情報であり、利用しやすいものであるよう、われわれは、KUINS ユーザ情報サービスシステムとして開発しました。このシステムはいわば、オンラインで検索できる電子アドレス帳的なものです。

ここではユーザ情報サービスシステムの利用方法について説明します。

2. 利用方法

前掲の“ホスト情報検索システムの利用方法”で解説されているように、サーバマシンに接続し、“2. ユーザ情報の登録・検索”を選択します。

処理が開始されると図1に示すサブシステム選択画面になります。

<p>行いたい処理を選択して下さい 項目 (1. 新規登録 2. 変更 3. 検索 4. パスワードの変更 5. 登録削除 9. 終了) 番号を入力して下さい ⇒</p>

図1 サブシステム選択画面

2.1 まずは検索

“他の人がどのように登録しているか”をまず見てください。

検索するには、“3. 検索”を選択します。検索文字(列)は、探したい人にマッチする文字

(列)を指定します。もし、複数の人が検索できた場合は、名前(漢字とローマ字)、メールアドレス、所属機関を一人/一行に表示する簡易表示が行われます。検索対象者が特定できた場合の検索例を図2に示します。

検索処理です
 検索する人の名前あるいは文字列は？ ⇒ test 検索文字列指定

登録情報です。
 初期登録日は 1991. 7. 15 最終変更日は 1991. 7. 15 です。

漢字氏名	テスト
ローマ字	test
所属機関	京都大学大型計算機センター
メールアドレス	test@sakura.kudpc.kyoto-u.ac.jp
電話番号	075-753-7431
その他の情報	趣味はスポーツで、テニスやスキーです

以上です。

図2 ユーザ情報の検索例

図2に示すように、ユーザ情報で検索・表示できる項目は、氏名（漢字とローマ字）・メールアドレス・電話番号・その他の情報（例えば趣味など）です。

2.2 次に登録

他人の情報を検索するのはいいけれど、自分の情報も登録しましょう。

登録するにはまず、kiss-request@kuins.kyoto-u.ac.jpにメールを送信します。

メールの本文は特に必要なく何も書きません。このメールがユーザ情報サービスシステムに届くと、初期パスワードを設定し、その利用者のメールアドレス宛にメールでお知らせします。（これを、仮登録と呼びます）

このように、登録メールをkiss-request@kuins.kyoto-u.ac.jpに送信し、ユーザ情報データベースに仮登録を行い、その後、ユーザ情報

サービスシステムに接続し、“1. 新規登録”を選択し、他の必要な情報を登録していきます。この仮登録を行わないと、ユーザ情報サービスシステムには、登録出来ませんのでご注意ください。

“1. 新規登録”処理では、システムからの問い合わせに従い氏名や所属機関などを入力していきます。これで初めて全ての情報が登録されたこととなります。図3に登録例を示します。

ユーザ情報の新規登録処理です。
 ★ この処理は初めて登録する場合のみご使用下さい。 ★

あなたのメールアドレスを答えて下さい。 ⇒ test@sakura.kudpc.kyoto-u.ac.jp
 パスワードを入力して下さい。 ⇒ ABC
 もう一度パスワードを入力して下さい。 ⇒ ABC

★ 確認しました ★

あなたのお名前は？（漢字） ⇒ テスト
 あなたのお名前は？（ローマ字） ⇒ test
 あなたの所属機関は？ ⇒ 京都大学大型計算機センター
 電話番号は？ ⇒ 075-753-7431
 趣味や興味ある事等何でもお書き下さい。 ⇒ 趣味はスポーツで、テニスやスキーです

図3 新規登録情報入力例

このシステムの場合、英文字および漢字の入力が可能ですが、漢字入力の場合は、それぞれの端末にて漢字変換処理を行い、漢字を入力してください。例えば uum やパソコンの漢字入力機能などを使う方法があります。但し、uum を使って漢字入力をする場合、単語毎の変換により入力する時は、単語毎に確定をしないと表示が化けますのでご注意ください。

登録処理の最後に本当に登録するか否かを選択し、登録は終了します。

2. 3 最後は変更と削除

変更は、登録した内容を変更する場合と、個人

情報を保護しているパスワードを変更する時に使用します。登録内容の変更は“2. 変更”を選択し、パスワードの変更は“4. パスワードの変更”を選択して下さい。図4に変更例を示します。変更の場合、登録者本人を特定するため、色々な情報を入力する必要があり、システムからの問い合わせに従い入力して下さい。このことにより、本人である確認を行い、現在の登録情報を表示し、再度本当に変更なのか止めるのかを問い合わせ、変更項目の選択画面へと推移していきます。

登録削除は、登録情報を抹消する場合に使用します。

ユーザ情報の変更処理です

あなたのお名前（登録されているローマ字の情報）を正確に答えて下さい ⇒ test

あなたのメールアドレスを答えて下さい ⇒ test@sakura.kudpc.kyoto-u.ac.jp

パスワードを答えて下さい ⇒ ABC

★ 登録情報です。 ★

初期登録日は 1991. 7. 15 最終変更日は 1991. 7. 15 です。

漢字氏名	テスト
ローマ字	test
所属機関	京都大学大型計算機センター
メールアドレス	test@sakura.kudpc.kyoto-u.ac.jp
電話番号	075-753-7431
その他の情報	趣味はスポーツで、テニスやスキーです

本当に変更しますか (y/n) ⇒ y

変更項目選択

項目 1 : 名前 (漢字)	2 : 名前 (ローマ字)	3 : 所属機関
4 : 電話番号	5 : その他の情報	
		9 : 初期画面に戻る

変更したい情報の番号を入力して下さい ⇒

図4 変更処理

なお、変更例ではパスワードの欄が表示されていますがその内容は当然表示しないようになっています。

3. メールによる登録情報の確認通知

新規に登録したり、登録内容あるいは、パスワードを変更した時、その登録メールアドレス宛

に登録内容および変更通知を行います。これは、登録間違いや、登録ミスなどを防ぐために、確認メールを送信しています。もし、間違いなどが発見された場合には、修正を行ってください。

なお、複数のメールアドレスを登録している場合には、その先頭に登録されているメールアドレス宛だけに通知を行いますのでご注意ください。

4. おわりに

以上、情報サービスシステムのユーザ情報について説明しました。まだまだ多くの問題点がありますが、多くの方にご使用いただき、改善してい

きたいと思っています。ご意見、ご感想などがありましたら、kiss-admin@kuins.kyoto-u.ac.jpまで、メールを頂ければ幸いです。

(大型計算機センターシステム管理掛)

~~~~~ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ~~~~~

### KUINS の利用に関する講習会について

去る11月18日(月)13:30から3時間に亘り、大型計算機センター講習室において、学術情報ネットワーク機構及び学術情報システム整備委員会の主催で、KUINSの利用に関する講習会が開催され、受講者約60名の参加のもと、下記の講師からKUINS利用について詳細に説明があり、活発な質疑応答ののち、終了した。

#### KUINS の利用法

(デジタルPBXやLANによる接続方法の解説)

学術情報ネットワーク機構 金澤正憲

情報処理教育センターのKUINSによるサービス

情報処理教育センター 新出尚之

附属図書館のKUINSによるサービス

附属図書館 橋本敬三

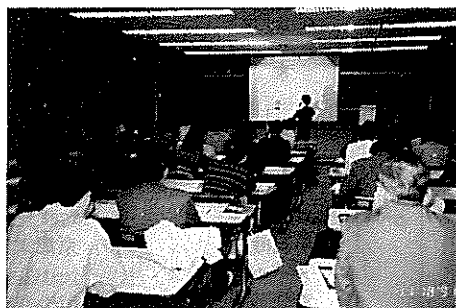
平元みさえ

大型計算機センターのKUINSによるサービス

大型計算機センター 櫻井恒正

工学部附属高度情報開発実験施設のKUINSによるサービス

工学部附属高度情報開発実験施設 美濃導彦



受講風景

~~~~~

KUINS 会議日誌

平成3年9月20日～平成3年12月1日

KUINS ネットグループ連絡会 (第13回)

3. 10. 9

- ・基幹ループLANの接続状況について
- ・ターミナル・サーバの運用について
- ・KUINS講習会について
- ・UNIXのライセンスの取得について

KUINS ネットグループ連絡会 (第14回)

3. 11. 13

- ・UNIXのライセンスの取得について
- ・基幹ループLANおよびパケット交換システムの接続状況について

(学術情報システム整備委員会小委員会)

3. 10. 15 会議

(学術情報システム整備委員会技術専門委員会)

3. 11. 6 会議